

令和3年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

I 概要

令和3年度は、平成30年度から5年間の計画であるとちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）の4年目に当たり、同計画の仕上げに向け、各事業の着実な実施に努めるとともに、次の事項について重点的に取り組んだ。

令和2年度末に新施設へ移行した桜ふれあいの郷については、新たな環境における安全安心で質の高いサービスを提供するため、支援体制の早期構築に努め、利用者の人権に配慮した適切な支援に取り組むとともに、既存施設の一部解体工事を実施した。

新たに運用を開始した人事管理制度については、職員説明会や研修等を実施するなど、職員の理解促進や能力開発を図り、実効性のある制度となるよう定着に努めた。一方、社会福祉施設に従事する支援職員等の人材確保や、適切な労働環境の整備に向けての時間外労働の縮減等の課題が顕在化した。

また、新型コロナウイルス感染症への対応については、社会福祉施設職員に対する定期的なスクリーニング検査の実施や、体温測定、消毒等の日常的な感染防止対策を徹底してきたが、一部の施設等において感染が確認され、関係機関等と連携しながら感染拡大の防止に尽力した。さらに、健康づくりセンター、生きがいづくりセンターについては、警戒度レベルに応じ、感染防止対策を十分に講じながら運営を行うとともに、運動フロア等を県営ワクチン接種センターの利用に供し、県の新型コロナウイルス感染症対策に協力した。

なお、新たな敷地への移転整備を目指した障がい者支援センターふれあいについては、適地を確保できず、整備に着手できなかったため、改めて事業の方向性を踏まえた建替整備を検討していくこととした。

このように、令和3年度は、今後対応を要する事項を一部残したものの、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、法人として取り組むこととした事業については概ね実施することができた。

II 総務福祉部所管事業

1 総務課

(1) 事業執行概要

法人本部としての総合的な企画調整及び経営管理を図るため、各施設等との連携により、とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）に基づいた各種事業を実施した。

新たに運用を開始した人事管理制度については、職員への説明会や研修等を実施し、適切な運用及び制度の定着化に努めた。一方、社会福祉施設の支援職について、職員採用試験を複数回実施するなどしたが、必要とする人員を確保することができなかった。さらに、勤務時間の把握と超過勤務手当の支給について、適切な対応がなされていなかつたことが判明し、勤務時間の適正な管理を徹底するよう通知するとともに、新たに判明した超過勤務時間に対する手当を支給するなど、必要な対応を行った。

新型コロナウイルス感染対策については、感染拡大防止を図るため、社会福祉施設（わかくさ、桜ふれあいの郷、清風園、宝木保育園、障がい者支援センターふれあい）に勤務する全職員を対象に月1回のスクリーニング検査を実施した。施設等において新型コロナウイルスの感染が確認された際には、対象施設と連携しながら感染拡大防止に努めた。

障がい者支援センターふれあいの建替整備については、適地の確保ができず、事業を推進することができなかつたため、改めて事業の方向性を踏まえた建替整備を検討していくこととした。

桜ふれあいの郷旧建物については、計画どおり一部の建物の解体を実施した。

令和4年に栃木県で開催予定の「第77回国民体育大会 いちご一會とちぎ国体2022」及び「第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一會とちぎ大会2022」の趣旨に賛同し、大会ロゴマーク入りマスクケース1,000枚を協賛物品として提供した。

（主な実施事業）

○ 新たな人事管理制度の運用開始

制度名	内容
キャリアパス等級制度	キャリアパス一覧の作成、キャリアパスコースの導入
採用区分・雇用形態等	職種別採用の実施、特定正職員（職種限定、事業所限定、業務限定）の導入
人事考課制度	①人事考課者研修の開催 ②人事考課の手引の作成 ③面接の実施
研修制度	人事考課者研修の開催
給与制度	新たな給与制度へ移行
福利厚生制度	リフレッシュ休暇制度の導入

(2) 事業実績

ア 新たな人事管理制度の運用に関する職員説明会の開催

開催年月日	内容
令和3年11月4日、5日、 10日、11日、12日	・人材育成を目的とした、面談、評価等（人事考課）の実施について ・キャリアパスコース、特定正職員の選択の基準等について

イ 職員研修の実施

開催年月日	内容
令和3年4月15日～16日	令和3年度新採職員研修（前期）
令和3年9月15日、22日	人事考課者研修（評価研修）
令和3年10月13日、20日	人事考課者研修（面談研修）
令和3年12月20日	令和3年度新採職員研修（後期）

ウ 職員採用の実績

(ア) 令和3年9月1日採用

職種	資格職	合計
	看護師	
試験方法	競争試験	
実施時期	令和3年6月	
採用人数	1名	1名

(イ) 令和4年4月1日採用

○ 新規採用

職種	支援職・事務職					資格職		合計
	管理栄養士	保健師						
試験方法	競争試験 (第1回)	競争試験 (第2回)	競争試験 (第3回)	競争試験 (第4回)	競争試験	競争試験	競争試験	
実施時期	令和3年 8月	令和3年 11月	令和4年 1月	令和4年 3月	令和3年 11月	令和3年 1月	令和4年 1月	
採用人数	支援職 1名	事務職 5名	支援職 4名	支援職 3名	1名	1名	1名	15名

○ 嘱託職員から正職員への登用

職種	支援職	保育職	資格職	合計
			健康運動実践指導員	
実施時期	令和4年1月			
採用人数	2名	1名	1名	4名

エ 桜ふれあいの郷居住棟ほか解体工事

事業名	期間	契約額（円）	業者名
桜ふれあいの郷居住棟 ほか解体工事	令和3年7月28日～ 令和4年3月24日	344,179,000	岩村・晋豊・荒川 特定建設工事共同企業体

※ 総事業費

区分	金額（円）	備考
桜ふれあいの郷居住棟ほか解体工事	344,179,000	岩村・晋豊・荒川特定建設工事共同企業体
工事監理業務委託費分	3,025,000	栃木県建築設計協同組合
監督員補助業務委託費分	1,518,000	(公財)とちぎ建設技術センター
収入印紙代（解体工事分）	60,000	
建物滅失登記業務委託費分	160,000	
合計	348,942,000	自主財源

オ 評議員会の開催

回数	開催年月日	内容
第69回	令和3年4月1日	・役員の選任について
第70回	令和3年6月29日	・令和2年度とちぎ健康福祉協会決算について 他
第71回	令和4年3月30日	・令和4年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他

カ 理事会の開催

回数	開催年月日	内容
第98回	令和3年4月1日	・常務理事の選定について
第99回	令和3年6月11日	・令和2年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 他
第100回	令和3年6月29日	・理事長の選定について 他
第101回	令和3年9月1日	・令和3年度とちぎ健康福祉協会資金收支補正予算について 他
第102回	令和3年12月9日	・令和3年度とちぎ健康福祉協会資金收支補正予算について 他
第103回	令和4年3月18日	・令和4年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他

キ 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	内容
令和3年6月29日	評議員の選任について

ク 監事監査の実施

開催年月日	内容
令和3年5月25日	令和2年度事業執行及び決算

ケ 課長施設長等会議の開催

開催年月日	内容
令和3年4月21日	令和3年度事業計画について 他
令和3年6月11日	超過勤務手当の適正な支給について
令和3年10月15日	令和3年度人事考課制度に基づく面談の実施及び人事考課シートの提出について 他
令和3年10月28日	人事管理制度の運用について 他
令和3年12月16日	働き方改革と労働時間の適正な管理について

2 支援業務課

(1) 事業執行概要

地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター障害者自立訓練センター（駒生園）の利用者支援に係る業務を受託し、利用者の自立と社会参加を促進するための支援等を行った。

※令和3年度末をもって当該業務受託終了

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

- 個々の障害特性に配慮した説明や選択肢の提示による利用者の意思決定支援
- 障害者の虐待防止や権利擁護に関する研修受講等による虐待防止の徹底
- 苦情や相談受付担当者の設置による苦情解決や相談体制の充実
- 高次脳機能障害研修や福祉人材研修の参加等による職員の資質向上

3 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子のDV被害からの退避や回復、親子関係の再構築や社会的な自立の促進及び子どもの貧困対策の推進などの取り組みの連携を強化しながら、母子が健全な社会生活を営めるよう支援した。その結果、7世帯について自立した社会生活に向けた退所に繋ぐことができた。

また、安定的な経営基盤を維持するための自主自立経営への取り組みや、わかくさから退所した子ども達を書道教室、学習教室及び行事に招くなどし、施設の存在価値を高めるため、地域貢献に取り組んだ。

台風や地震等の自然災害に備えるため、防災用品（災害用簡易トイレ、飲料用ポリタンク）や防災用品類の専用保管倉庫を設置する等、災害発生時における利用者の安全確保を迅速かつ円滑に図れるよう整備した。

新型コロナウイルス感染対策については、消毒や換気の励行、利用者に毎日検温表を提出してもらう等、感染予防に取り組んできたが、1世帯に感染が確認された。感染者の発生に伴い、全世帯を対象とした定期的な抗原検査キットによるスクリーニング検査の実施等、より徹底した感染対策を講じながら利用者への支援を実施したことで、所内における感染拡大を防止することができた。

【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

- 令和4年1月23日(日) 1世帯 母親感染、その後同居の子どもも感染
感染した世帯は、10日間の自室待機。

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

- 母子支援員及び個別対応職員による母子の良好な関係構築
- 心理療法担当職員による母子の心のケアを実施
- 母親のニーズに応じた施設内保育の実施
- 母親の就労に向けた資格取得支援、民間事業者と連携した就労支援の実施
- 子どもの健全な育成を目指した学習支援や体験活動の実施
- 貧困連鎖防止を図るための母親教養講座や季節の行事の実施
- 常直体制による夜間の安全確保
- 関係機関との緊密な連携による利用者の保護や自立支援の実施
- 災害時における利用者の安全を確保するための備品の整備
- 検温や手指消毒、換気の実施等新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び衛生物品や備品の購入による環境の整備
- 新型コロナウイルス感染者の施設内隔離に必要な生活必需品などの購入支援

② 自主自立経営の確立

- 加算算定要件となる研修の受講による運営費の増収
- 記録管理システムの活用による事務の効率化

③ 地域社会への貢献

- 委託事業の一時保護事業、独自事業の緊急一時利用の受入

(2) 事業実績

ア 母子生活支援施設 定員 20 世帯

年度別 区分	令和 2 年度			令和 3 年度		
	年間延利用者数 (月単位)	月平均	稼働率 (%)	年間延利用者数 (月単位)	月平均	稼働率 (%)
世帯数 (世帯)	240	20.0	100.0	227	18.9	94.5
家族人数 (人)	648	54.0		596	49.7	
母親 (人)	240	20.0		227	18.9	
児童 (人)	408	34.0		369	30.8	

イ 年度末の入所利用者の状況（令和 4 年 3 月 31 日現在）

(ア) 母親の状況 (人)

区 分	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代以上	合 計
母親		1	6	6	1	14

(イ) 世帯当たりの人数 (世帯)

区 分	2 人	3 人	4 人	5 人以上	合 計
世帯数	8	4	1	1	14

(ウ) 児童の状況 (人)

区 分	未就学児	小学生	中学生	高校生以上	合 計
児童	5	16	3		24

ウ 一時保護受託事業

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
年間延利用日数 (日)	73	27
実世帯数 (世帯)	2	1

エ 緊急一時利用事業

令和 2 年度、令和 3 年度：対象者なし。

オ 実施行事

時期	内 容		
4月	○入学祝		
5月	○端午の節句	○母の日イベント	
6月			
7月	○母と子のつどい（第1回） ○七夕	○母親教養講座（第1回）	
8月	○小学生夏休み体験学習	○小・中学生食事会	○ラジオ体操
9月	○わわかくさ秋祭り		
10月	○小学生社会教育活動		
11月	○母と子のつどい（第2回） ○親子ふれあい体験（幼児世帯）	○七五三のお祝い	
12月	○母親教養講座（第2回） ○正月準備 ○クリスマス	○中学生社会教育活動 ○母親遠足	
1月	○書初め大会 ○中学生体験学習	○小学生冬休み体験学習 ○調理体験（第1回）	
2月	○節分		
3月	○ひなまつり ○体験学習（全世帯）	○幼児ゲーム体験 ○調理体験（第2回）	
定例	○書道教室（月2回） ○お絵かきクラブ（月1回） ○母親常会（偶数月） ○日本語教室（月2回） ○学生施設実習（随時）	○英語教室（月2回） ○セカンドステップ（月1回） ○子ども常会（随時） ○蒲公英発行（月1回）	○学習支援（随時） ○保育サロン（月1回） ○施設内保育（随時） ○誕生祝（随時）

カ 関係機関との連携

- (ア) 福祉事務所との連絡会議（新型コロナウイルス感染症対策のため、集合会議を中止し、個別の ZOOM または電話対応）
- (イ) 保育園との連絡会議（松原保育園、宝木保育園：新型コロナウイルス感染症対策のため、集合会議を中止し、個別の面談対応）
- (ウ) 小学校との連絡会議（晃宝小学校：新型コロナウイルス感染症対策のため、集合会議を中止し、個別の面談対応）
- (エ) 中学校との連絡会議（国本中学校：新型コロナウイルス感染症対策のため、集合会議を中止し、個別の面談対応）

(1) 事業執行概要

利用者の権利擁護に努め、自己選択や自己決定の意思及び人格を尊重するとともに、個々の能力に応じた自立と社会活動への参加促進を基本とし、運営を行った。

新施設での事業運営が開始となり、住環境の大きな変化により、利用者が体調を崩されたり、暮らししづらさを感じられたりといった影響に十分配慮し、早期適応に向けた支援に努めた。不慣れな環境に不安定となり、対応に苦慮するケースもあったものの、ケース検討を通じた支援方法の工夫や、必要に応じた設備の修繕や改良により対応した。

また、組織も大幅に改編されたことから、新たな支援体制におけるより良いサービス提供体制の構築に取り組んだ。職員定数を欠いた支援グループも多く、また、男女比の不均衡や夜勤可能職員の確保の困難等により、必ずしも十全の支援体制とはならなかつたが、サービスの維持・向上に努めた。

利用者への支援面については、過年度における不適切な支援が確認され、県からの勧告を受け、当面の必要な対応として勧告事項改善報告書を提出したが、今後、より良いサービスを提供していくため、施設として抜本的な原因究明に取り組むこととなった。その過程において、広く職員の声を取り入れ、利用者支援の向上及び職員にとってやりがいを感じられる職場を目指す必要があるという観点から、改善に向けた取り組みを施設としての再出発と位置づけ、対応事務局を立ち上げ、職員アンケートの実施及び分析、計画骨子(案)の検討及び立案等に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染対策については、感染予防対策を徹底しながらのサービス提供となつたが、障害者支援施設において計3件、グループホームにおいて計2件の感染者の発生があった。なお、感染者の発生に際しては、支援従事者の個人防護具着用及び施設内ゾーニングの徹底、定期的なスクリーニング検査の実施等により、支援従事者及びその他の利用者の安全安心に配慮した上で、施設内療養者に対して十分なサービスの提供を継続できた。

就労支援事業については、近隣市からの大口の官公需を受けることができ、利用者平均工賃月額を前年度から大きく向上させることができた。

障がい者支援センターふれあいについては、グループホーム等の地域生活への移行推進、及び地域で生活する障害児者やその家族への支援の拠点として、様々なサービスを提供した。特に、栃木労働局・栃木県からの受託事業である「障害者就業・生活支援センター事業」において、行政機関との連携強化や近隣市町自立支援協議会の相談支援部会等への参加等により、これまで以上にネットワークを広げ、相談支援件数を大幅に向上させることができたことは大きな成果であった。

【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

- 令和3年7月10日(土) グループホーム利用者1名感染
　　桜ふれあいの郷における通所・日中一時支援サービス及び障がい者支援センターふれあいにおける対面相談支援サービスを、7月12日(月)～7月18日(日)まで提供中止
- 令和3年9月18日(土) 桜ふれあいの郷給食業務従事者（派遣職員）1名感染
　　桜ふれあいの郷における通所・短期入所・日中一時支援サービスを、9月18日(土)～9月26日(日)まで提供中止
- 令和4年2月13日(日) 桜ふれあいの郷職員1名感染
　　通所サービス提供の中止等、運営事業への影響はなかった。
- 令和4年2月28日(月)～3月2日(水) グループホーム利用者2名感染
　　桜ふれあいの郷における通所サービス及び障がい者支援センターふれあいにおける対面相談支援サービスを、2月28日(月)～3月7日(月)まで提供中止
- 令和4年3月9日(水)～17日(木) 桜ふれあいの郷利用者5名・職員3名感染
　　桜ふれあいの郷における通所・短期入所・日中一時支援サービスを、3月10日(木)～3月23日(水)まで提供中止

(主な実施事業)

- ① 質の高いサービスの提供
 - ア 利用者本位のサービスの提供
 - 虐待防止委員会及び虐待防止対策部会（専門の下部組織）の定期開催、同組織を中心とした虐待防止の徹底
 - 職員倫理綱領、職員行動指針の遵守の徹底
 - 適切なモニタリング等の実施による利用者の意思確認、支援内容への反映
 - 苦情解決第三者委員の虐待防止委員会への参加、意見の聴取
 - イ 安全で快適な利用環境の確保
 - 桜ふれあいの郷居住棟ほか解体工事実施中の利用者の安全確保
 - インシデント・アクシデントの早期発見、原因分析の実施によるリスクマネジメントの徹底
 - 新型コロナウイルス感染症に係る基本的な感染予防対策の徹底、衛生用品等の整備、陽性者発生を想定した支援体制及びゾーニング計画の検討等
 - 老朽化した送迎車両の更新（ミニバン1台）、入所施設（グループホーム）の修繕及びバリアフリー化への対応

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

- サービス管理責任者等の養成研修、利用者の重度化・高齢化に対応した支援・医療ケア技術の習得研修等への職員の派遣

エ 情報公開の推進

- 利用者家族等への支援状況の報告や新型コロナウイルス感染症陽性者発生時の速やかな情報提供
- ホームページ上での年間行事実施状況の公開
- かじかさわ通信の発行（年1回）

② 自主自立経営の確立

- 省エネ、経費節減に配慮した施設設備の調整
- 新たな支援体制を踏まえた適切な利用調整の実施

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- 特別支援学校の産業現場実習受入
- イ 施設の特性を活かした地域貢献活動
 - 栃木県障害施設・事業協会のセーフティネット拠点事業の継続実施
 - いちごハートねっと事業への参加（継続）
 - さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」の更新
 - 栃木県災害福祉支援チーム（D W A T）への登録

(2) 事業実績

ア 児童施設

(ア) 障害児入所施設（定員15名）

区分	令和2年度				令和3年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
延利用者数	4,714	365	12.9	86.1	5,196	365	14.3	94.9
内、措置人数	3,254	365	8.9		4,319	365	11.9	
内、契約人数	1,460	365	4.0		877	365	2.4	

(イ) 障害者支援施設（併設）（定員 生活介護 15名 施設入所支援 15名）

年度別 区分	令和2年度				令和3年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	3,910	263	14.9	99.1	3,679	261	14.1	94.0
施設入所支援	5,442	365	14.9	99.4	5,145	365	14.1	94.0

イ 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 135名 施設入所支援 130名）

年度別 区分	令和2年度				令和3年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	31,717	263	120.6	89.3	31,489	261	120.7	89.4
施設入所支援	44,042	365	120.7	92.8	43,828	365	120.1	92.4

ウ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 40名 就労継続支援B型 40名 施設入所支援 40名）

年度別 区分	令和2年度				令和3年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	5,652	263	21.5	86.0	8,169	261	31.3	78.2
就労継続B型	12,169	263	46.3	84.1	9,020	261	34.6	86.4
施設入所支援	14,066	365	38.5	96.3	14,095	365	38.7	96.5

※ 令和3年4月1日から定員変更（生活介護 25名→40名、就労継続B型 55名→40名）

エ 障がい者支援センターふれあい

共同生活援助事業所（定員 54名）

年度別 区分	令和2年度				令和3年度			
	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延べ利 用者数(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
共同生活援助	18,835	365	51.6	95.6	18,599	365	51.0	94.4

才 年度末の入所利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(人)

施設等別区分	児童施設 (障害児入所施設)	児童施設(併設) (障害者支援施設)	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援 センターふれあい
10歳未満	1				
10代	13	2			1
20代		3	5	1	8
30代		5	12	3	6
40代		4	25	16	9
50代			25	10	5
60代以上			56	8	25
合計	14	14	123	38	54
平均年齢(歳)	14.7	32.3	57.0	50.6	51.9
平均障害支援区分	—	5.43	5.60	4.33	3.5

力 短期入所(定員 児童施設1名 生活支援施設3名 就労支援施設1名)

(人)

区分	年度別	令和2年度			令和3年度		
		児童施設	生活支援施設	就労支援施設	児童施設	生活支援施設	就労支援施設
年間延利用者数			101	176	64	465	6
実人数			3	4	5	6	1

キ 日中一時支援事業(定員 15名)

(人)

区分	年度別	令和2年度	令和3年度
年間延利用者数		1,802	1,488
実人数		18	16

ク 一時保護受託事業

(人)

区分	年度別	令和2年度	令和3年度
年間延利用者数		95	23
実人数		3	2

ケ 障がい者支援センターふれあい実施事業

事業名	区分	令和2年度	令和3年度	備考
職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業	利用者支援（件）	29	16	訪問型職場適応援助者 1名
	ケース会議等（件）	3	3	
障害者就業・生活支援センター	相談支援件数（件）	1,075	2,297	就業支援担当者 3名 (専従3) 生活支援担当者 2名 (専従1、兼務1)
	職場実習件数（件）	6	23	
	就職件数（件）	35	37	
	相談・支援を行った事業所数（か所）	121	158	
	事業主相談・支援件数（件）	773	1,368	
相談支援事業	計画相談支援（件）	806	840	サービス利用支援 259件 継続サービス利用支援 581件
	障害児相談支援（件）	58	58	サービス利用支援 29件 継続サービス利用支援 29件
	地域相談支援（件）		6	
	障害者相談支援事業（件）	955	934	さくら市受託事業
	障害支援区分認定調査業務	39	40	さくら市受託事業
福祉サロン	年間延利用者数（人）			新型コロナウイルス感染症対策のため閉鎖

コ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
農産	当施設で生産したさつまいもを原料にした焼酎の販売
受託加工	Tシャツやポロシャツ、エコバック等へのプリント加工、自動車部品のバリ取り、餃子の箱組み立て、ラテックス手袋たたみ、パンフレット差込み、シール貼り、餃子のタレ袋詰め
除草作業	敷地内緑地等の除草作業（3箇所）
焼き菓子・パン製造 販売	焼き菓子：所内外及びクリスマス等季節のイベントギフトの製造販売、無人販売 パン：イベント等での出張販売、施設内給食への販売、所内外への注文販売、無人販売
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング
リサイクル	アルミ缶等の回収・リサイクル

(イ) 利用者工賃 (1人当たり平均工賃月額)

(円)

項目	令和2年度	令和3年度
1人当たり平均工賃月額	13,335.7	16,986.3
目標工賃月額	15,600	12,900

サ 実行事

時期	児童施設	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援センター ふれあい
4月	○南那須特別支援学校 入学式		○食事会	○花見
5月	○外出	○食事会	○食事会	○フライングディスク 大会 ○外出
6月	○食事会 ○外出	○食事会	○食事会	
7月	○外出	○外出	○食事会	
8月	○残課利用者食事会 ○外出 ○学童夏まつり	○外出	○残課利用者食事会	
9月	○外出	○食事会	○外出	
10月	○郷まつり代替行事 ○外出	○食事会 ○外出	○郷まつり代替行事 ○外出	○花火大会 ○障がい者支援センター ふれあい交流会
11月	○こぶし祭 ○外出	○食事会 ○外出	○外出	○ふれあいミュージカルショー
12月	○クリスマス会 ○外出	○クリスマス会 ○食事会	○外出 ○クリスマス会	○日産チャリティー ○クリスマス会 ○障害者スポーツ大会
1月	○食事会 ○外出	○食事会	○食事会	○初詣
2月	○外出	○食事会		
3月	○南那須特別支援学校 卒業式 ○食事会		○食事会	○なかよし会総会

5 清風園

(1) 事業執行概要

利用者の権利を擁護し自己選択や自己決定を尊重しながら、自立と社会参加を支援することで、利用者の自己実現が図られるよう、提供するサービスの充実を図った。

職員、利用者双方にとっての負担軽減や介護の質の向上を図るために推進している「ノーリフティングケア」については、介護リフトの活用や利用者のプライバシーにも配慮した生活支援施設特殊浴室電動更衣台の導入等を行うなど、「ノーリフティングケア」に不可欠な設備等の導入を進めてきた。また、施設内の専門職職員による「腰痛予防講座」を開催し、職員の腰痛予防に関する意識を高めるなど、職員、利用者双方にとっての負担軽減や介護の質の向上という「ノーリフティングケア」の持つ本来の趣旨の理解促進に努めているが、いまだ十分浸透しているとは言えず、従来のやり方からの転換が十分に図られなかつた。そのため、さらに職員の共通理解を図りながら、提供するサービスの充実に向け取り組みを継続していくこととした。

新型コロナウイルス感染対策については、利用者の健康管理に努めるとともに、手指消毒や定期的な検温の実施（支援従事者は毎日2回）、来訪者に対する入室制限や記録の管理及び利用者家族との窓越し・リモート面会の継続等に取り組んだ。給食業務従事者（業務委託）1名の感染者の発生があったものの、利用者や職員への感染拡大、運営事業の中止には至らず、総じて感染予防対策を十分に成功させることができた。また、コロナ禍にあっても実施可能な活動を模索し、四季折々の行事の他、ドライブスルー外出や移動スーパーの招致を企画・実現する等、利用者の日常生活を充実させる支援の提供に取り組んだ。

【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

- 令和4年3月8日(火) 給食業務従事者（業務委託）1名感染
通所サービス提供の中止等、運営事業への影響はなかった。

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 権利擁護委員会や虐待防止委員会の開催、同組織や苦情解決第三者委員会を活用した利用者本位のサービスの提供
- 職員倫理綱領、職員行動指針の遵守の徹底
- 適切なモニタリング等の実施による利用者の意思確認、支援内容への反映

イ 安全で快適な利用環境の確保

- 権利擁護、虐待防止及び意思決定支援に関する研修の受講
- リスクマネジメント委員会におけるアクシデント事例の検証及び分析

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

- 施設の専門職と外部講師（言語聴覚士）の連携による誤嚥防止のための嚥下評価、研修の実施

エ 情報公開の推進

- 定期的なホームページの更新、SNSによる情報発信

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

- 事務職員の資質向上を目的とした会計に関する研修の受講

③ 地域社会への貢献

- いちごハートネット事業への継続参加
- さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」の更新
- 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録
- 施設及び備品の貸出事業の継続

(2) 事業実績

ア 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 53名 施設入所支援 50名）

年度別 区分	令和2年度				令和3年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護	13,575	313	43.4	81.8	13,780	313	44.1	83.1
施設入所支援	17,279	365	47.3	94.7	17,663	365	48.4	96.8

イ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 45名 就労継続支援B型 20名 施設入所支援 50名）

年度別 区分	令和2年度				令和3年度			
	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)	年間延べ利用者数(人)	開所日数(日)	平均(人/日)	稼働率(%)
生活介護	10,433	262	39.8	88.5	9,603	261	36.8	81.8
就労継続B型	5,208	262	19.9	99.4	5,544	261	21.3	106.3
施設入所支援	16,108	365	44.1	88.3	15,245	365	41.8	83.6

ウ 年度末の入所利用者の状況（令和4年3月31日現在）

(人)

区分	施設別	生活支援施設	就労支援施設
10歳未満			
10代			
20代		2	
30代		6	1
40代		3	5
50代		10	12
60代以上		28	25
合計		49	43
平均年齢(歳)		59.7	61.8
平均障害支援区分		5.7	4.5

工 短期入所（定員 生活支援施設 5名 就労支援施設 2名） (人)

区分	年度別		令和2年度		令和3年度	
	生活支援施設	就労支援施設	生活支援施設	就労支援施設		
年間延利用者数		309	157		282	30
実人数		7	4		8	3

才 日中一時支援事業（定員 生活支援施設 5名 就労支援施設 2名） (人)

区分	年度別		令和2年度		令和3年度	
	生活支援施設	就労支援施設	生活支援施設	就労支援施設		
年間延利用者数		176	37		164	4
実人数		3	1		3	2

カ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
受託加工	機械部品組み立て、線香箱詰め、自動車部品のバリ取り
自主製品製造販売	草木染、小物の製造及びイベント等における販売
リサイクル	段ボール、古紙のリサイクル
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング、施設内の清掃

(イ) 利用者工賃（1人当たり平均工賃月額） (円)

区分	年度別		令和2年度		令和3年度	
	生活介護	就労継続支援B型	生活介護	就労継続支援B型		
1人当たり平均工賃月額		6,396.0	17,765.6		7,867.4	18,006.0
目標工賃月額			18,342			18,000

キ 実施行事

時期	生活支援施設	就労支援施設	共通
4月	花見会		
5月	ボッチャ大会	ドライブスルー外出 お茶会	食事会（さくら会）
6月	あじさい祭り	お茶会	
7月	七夕祭り	お楽しみ会	
8月	夏祭り	お茶会	
9月	月見会	お茶会	
10月	運動会 ハロウィン	ドライブスルー外出 移動スーパー来園 お茶会	食事会（さくら会）
11月	秋祭り	お茶会	
12月	クリスマス会		
1月	新年会		
2月	節分	食事会（自治会） お茶会	食事会（さくら会）
3月	ひなまつり	食事会（自治会） お茶会	食事会（さくら会）
定例	お茶会 カラオケクラブ 園芸クラブ		

ク 実習等の受入れ

- (ア) 介護実習 0名
- (イ) 施設体験実習 0名
- (ウ) 地域活動実習 0名
- (エ) 施設見学 0名

※新型コロナウイルス感染症対策のため受入なし。

6 宝木保育園

(1) 事業執行概要

保育所保育指針及び宝木保育園の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を考慮した保育サービスの提供を図るとともに、地域に開かれた施設として、子育て相談や親子の交流の場の提供及び実習生の受け入れ等を実施した。

災害時の安全を確保するため、ワンタッチテント、ヘッドライト及び備蓄用食品の備品整備を行った。

園庭の老朽化した大型遊具（ローラー滑り台）を更新整備し、保育環境の充実に努めた。

新型コロナウイルス感染予防対策については、体温測定による健康面の管理、玩具等の消毒や保育室の換気による衛生面の管理の徹底及び給食時に飛沫防止パーテーションを利用するなどした保育環境の改善に取り組んだ。職員及び園児、保護者に感染が確認されたが、発生の都度、関係機関と連携を図りながら、保護者宛て迅速に情報提供するとともに、職員への抗原検査キットによるスクリーニング検査を実施する等、園内における感染対策を一層強化することで感染拡大を防ぐことができた。

【新型コロナウイルス感染症の発生状況等】

○ 令和3年8月20日(金) 職員1名感染

宇都宮市からの通知に基づき、8月21日(土)～8月29日(日)まで臨時休園の措置

8月24日(火)から0歳児クラス除き保育再開

8月30日(月)から通常保育再開

○ 令和3年8月20日(金)～9月30日(木)

緊急事態宣言の対象区域が栃木県に拡大されたことを受け、宇都宮市が保護者宛てに保育所等の利用自粛を要請

○ 令和4年1月24日(月) 職員1名感染

休日保育担当職員の感染に伴い、休日保育と同一の部屋を利用している子育てサロンを、宇都宮市からの指示により、1月24日(月)～26日(水)まで休止の措置

○ 令和4年2月4日(金) 保護者1名感染

宇都宮市からの通知により、令和4年2月5日(土)～2月8日(火)まで全クラス登園自粛の措置

○ 令和4年2月12日(土) 園児1名感染

休園措置等、事業運営への影響はなかった。

○ 令和4年3月23日(水) 園児1名感染

宇都宮市からの通知により、令和4年3月24日(木)～3月26日(土)まで臨時休園の措置
(1、2歳児クラスの部分休園、0、3、4、5歳児クラス登園自粛の措置)

(主な実施事業)

① 質の高いサービスの提供

- 保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底
- 家庭保育に対する理解と関心を深める機会としての保育体験の実施
- リトミック、体操、英語、サッカーの各教室の実施
- 野菜作りや講座を通した食育の実施
- 安全な食事提供を目的とした日々の食材管理や放射性物質検査の実施
- 園庭への総合遊具（ローラー滑り台）の整備（再掲）

② 自主自立経営の確立

- 多様な保育ニーズに対応した延長保育、休日保育及び一時保育の実施
- 乳幼児の積極的な受入

③ 地域社会への貢献

- 一時的に保育を必要とする保護者に対する支援としての一時保育の受入
- 県立聾学校幼稚部との交流（作品展示）や、小学校との交流（学校生活を紹介する絵の贈呈）
- 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施

(2) 事業実績

ア 保育所 利用定員 160名

区分	令和2年度			令和3年度		
	合計（人）	平均（人/月）	稼働率（%）	合計（人）	平均（人/月）	稼働率（%）
0歳児	190	15.8		186	15.5	
1歳児	354	29.5		360	30.0	
2歳児	360	30.0		359	29.9	
3歳児	360	30.0		360	30.0	
4歳児	372	31.0		360	30.0	
5歳児	384	32.0		372	31.0	
合計	2,020	168.3	105.2	1,997	166.4	104.0

イ 入退所及び年度末の利用者の状況

(人)

区分	令和2年度			令和3年度		
	入所者数	退所者数	3月31日現在利用児数	入所者数	退所者数	3月31日現在利用児数
0歳児	18	0	19	18	0	19
1歳児	11	3(2)	30	12	0	30
2歳児	0	1(1)	30	1	0	30
3歳児	0	0	30	3	2(1)	31
4歳児	1	0	31	0	0	30
5歳児	0	32(32)	32	0	31(31)	31
合計	30	36(35)	172	34	33(32)	171

注) () 内は、3月31日付け退所者の再掲

ウ 休日保育

区分	令和 2 年度	令和 3 年度
年間延利用児数（人）	617	524
実人数（人）	27	27
開所日数（日）	72	71

エ 延長保育

区分	令和 2 年度	令和 3 年度
年間延利用児数（人）	1,529	1,880
実人数（人）	77	70
開所日数（日）	227	229

オ 一時保育

区分	令和 2 年度	令和 3 年度
年間延利用児数（人）	6	17
実人数（人）	3	6
開所日数（日）	243	242

カ 地域子育て支援拠点事業

区分	令和 2 年度	令和 3 年度
年間延利用者数（人）	1,544	2,187
開所日数（日）	127	134

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 3 年 7 月 31 日から 9 月 30 日まで休止

※令和 2 年 5 月 20 日から予約制とし、利用人数を制限し実施

キ 実施行事

時期	内 容	
4月	○入園式 ○こどもの日のお祝い	○進級式
5月	○園外保育（3、4、5歳児）	
6月	○保護者体験保育（12月まで）	○いちご一会ダンスキャラバン隊（3、4、5歳児）
7月	○プール開き ○遠足（5歳児）	○七夕夏まつり
8月	○宇都宮百年花火（5歳児花火の絵出展）	
9月	○乳児運動会（0、1、2歳児）	
10月	○運動会（3、4、5歳児） ○園外保育（3、4、5歳児）	○食育遠足（3、4、5歳児） ○下野教育美術展出展（5歳児）
11月	○観劇会（人形劇）	○マラソン大会（3、4、5歳児）
12月	○クリスマス会	○はな組発表会（5歳児）
1月	○お正月あそび（3、4、5歳児） ○卒園記念製作陶芸教室（5歳児）	○修園旅行（5歳児）
2月	○節分 ○新入園児説明会及び面接	○保護者との個人面談
3月	○人間びな撮影 ○ひなまつり ○卒園式	○新入園児説明会及び面接 ○はなぐみお別れ会（5歳児） ○交通安全教室（3、4、5歳児）
定例	○誕生会（月1回） ○英語教室（年9回） ○サッカー教室（年5回） ○保健（保健だより年3回発行）	○リトミック教室（年10回） ○体操教室（4・5歳児年5回、2・3歳児年10回） ○食育（食育講座・食育だより年3回発行）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を一部中止または規模を縮小して実施した。

ク 実習等の受入れ

- (ア) 保育実習（学生） 8名（作新学院大学女子短期大学部、宇都宮共和国大学、独立行政法人 国立病院機構栃木医療センター看護学校）
- (イ) 評価調査者養成研修実習 4名
- (ウ) わくわく保育園体験受入 0歳児4名 1歳児1名

III 生きがい健康部所管事業

1 事業執行概要

(1) 生きがいづくり課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営、及び高齢者生きがいづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「はつらつプラン 21（八期計画）」や「とちぎ健康 21 プラン（2期計画）」に沿った生きがいづくり事業を実施した。

また、とちぎ生きがいづくりセンター県南支所・県北支所の施設管理について、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、敷地内緑地や施設・設備の適正な維持管理に努めた。

事業運営においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により 1 年 1 ヶ月余にわたり休校としていたシルバー大学校の授業を年度当初から再開し、感染防止対策に留意しながら学校運営に努めた。全国健康福祉祭の予選会の位置づけであるねんりんピックとちぎ 2021 についても、一部の種目は中止となったが、2 年ぶりに実施することができた。しかし、岐阜県で開催予定であった全国健康福祉祭は、前年度の延期に続き中止の措置が取られるなど、令和 2 年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を大きく受けた 1 年となった。

（主な実施事業）

① 質の高いサービスの提供

○ シルバー大学校の運営

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上での学校活動の実施
- ・学生全員に対するオンライン体験授業の実施

*新型コロナウイルス感染症による影響等

令和 3 年 8 月 8 日～令和 3 年 9 月 30 日

シルバー大学校登校停止、オンライン・資料配布による自宅学習対応

○ ねんりんピックとちぎ 2021 の開催

- ・スポーツ・文化交流大会（15 種目 参加者 1,568 名）
- ・シルバー作品展（6 部門 出展数 191 点）

*新型コロナウイルス感染症による影響等

スポーツ・文化交流大会 19 種目中 4 種目を中止

- 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会への選手団派遣の中止
 - ・主催者（厚生労働省・（一財）長寿社会開発センター・岐阜県）の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた大会開催中止の判断に基づき、栃木県選手団派遣・美術展出展の中止
 - 介護支援専門員実務研修受講試験の実施
 - ・令和3年10月10日実施
 - 介護支援専門員の各種法定研修の実施
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて令和3年6月から令和4年3月まで実施（令和3年1月から、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、オンライン研修と従来の集合研修の同時開催のハイブリッド形式による研修の実施）
- ② 自主自立経営の確立
- 賛助会員の増加への取組
 - ・情報誌「いきいきとちぎ」における会員の地域貢献活動等紹介の掲載
- ③ 地域社会への貢献
- シルバー大学校卒業生による健康づくり体験会の実施
 - 情報誌「いきいきとちぎ」の発行による高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報提供（発行回数 年4回、市町・関係機関、公民館・病院等へ無料配布）

(2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行った。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施した。

また、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理に努めるとともに、とちぎ健康づくりセンター及びとちぎ生きがいづくりセンターの広報活動や施設の利用・貸出に係る個人情報の保護に配慮した。

事業運営においては、新型コロナウイルス感染症対策として取られた一定期間の休館（令和3年7月30日～9月30日）や、プールの大規模工事（令和2年10月1日～令和3年6月30日）により減少した利用者の回復のため、LINEの公式アカウントの開設などの広報、情報提供を強化するとともに施設利用講習、各種講座のインターネット予約を開始するなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努めた。その一方で、とちぎ健康の森に新型コロナウイルスワクチン接種会場が設置されたことで貸出施設の貸出が制限されるなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた。

【新型コロナウイルスワクチン接種会場設置状況等】

- 1回目、2回目接種
 - ・設置期間 令和3年6月12日～12月3日
 - ・設置場所 運動フロア、エアロビクススタジオ ※その他の施設は新規予約停止
- 3回目接種
 - ・設置期間 令和4年1月4日～
 - ・設置場所 運動フロア、小会議室（貸出時間制限）※その他施設の貸出制限なし

（主な実施事業）

- ① 質の高いサービスの提供
 - 新型コロナウイルス感染対策を徹底した施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施（利用人員制限・講座等のインターネット予約導入）
 - 地域や団体等に出向いた講座や研修会の実施
 - ・企業、団体等と連携した出張講座
 - ・市町職員等の健康づくり活動を支援する研修会の実施
 - ・県南、県北支所を活用した講座等の実施（フレイル予防講座）
 - 利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制での支援
 - 新型コロナウイルス感染症対策における健康づくりに関する相談や情報提供、普及啓発
 - ・情報提供コーナーを設置し、月別テーマの掲示
 - ・ホームページの活用（自宅で健康づくり・とちぎ健康の森だより）
 - 建物・設備の定期点検、保安警備及び敷地内緑地管理等の維持管理の実施
 - ・施設の大規模改修工事（県予算）に伴う県・関係機関との連絡調整及び対応
 - プール特定天井落下防止対策事業 （工期：令和2年10月～令和3年6月）
 - プール他県有施設省エネ加速化事業 （工期：令和2年12月～令和3年6月）
 - 全館自動検針・照明制御装置更新事業（工期：令和2年12月～令和3年6月）
 - 講堂特定天井落下防止対策事業 （工期：令和3年11月～令和4年7月）
 - 災害・事故等の危機管理対策としての防災訓練（日中・夜間）の実施
 - 利用規定の掲示やパンフレットでの周知による公平な施設の利用の確保
 - ホームページへの施設の予約状況の掲載による利用者の利便性の向上
 - サービス向上委員会の開催による利用者アンケートの分析等、利用者ニーズの把握
 - 利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営の実施
 - ・LINE公式アカウントの開設
 - ・施設利用講習、各種講座のインターネット予約の開始

- ・プリペイドカード特典の継続
 - ・企業等への利用チケット制の実施及び提案
 - ・利用料コンビニ・スマホ収納サービスの実施
 - ・プール、トレーニング室の利用キャンペーンの実施及びオリジナルグッズの有償頒布
- とちぎ健康づくりセンター主催イベントの実施
- ・コロナ禍における健康・生きがいづくりの機会提供を目的とした講演会等の実施
 - ・実施内容等の見直しに伴うイベント名称の変更
- (とちぎ健康の森フェス 2021 から「とちぎ健康の森」健康づくり Day に変更)
- ② 自主自立経営の確立
- アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の実施による利用者の確保
 - ・施設利用者の運動目的、達成度の調査、検証による利用者の確保
 - 繼続利用に向けた仕組みづくり（運動メニューの作成や集団指導、簡易測定）
 - 電力・ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制、省資源・省エネルギーの取組
- ③ 地域社会への貢献
- 電話や来訪による随時の健康相談の実施
 - 地域の学校からの職場体験の受入
 - 災害時に対応した自衛消防組織及び県や関係機関との連絡・協力体制の整備

(3) 生きがい就労課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するため実施した次の事業について支援を行った。

ア シルバー人材センター事業

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援した。

イ 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センターでの就業を希望する高齢者を対象に、様々な技能講習を実施し、就業機会の拡大を図った。

2 事業実績

(1) とちぎ健康づくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分	項目	年間利用時間		月平均利用時間	
		令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
大会議室		878	1,032	73.2	86.0
小会議室		706	752	58.8	62.7
多目的フロア	A全面	492	719	41.0	59.9
	A2/3面	7	0	0.6	0
	A1/2面	72	23	6.0	1.9
	A1/3面	11	0	0.9	0
	B	497	195	41.4	16.3
	C	672	319	56.0	26.6
	計	1,751	1,256	145.9	104.7
エアロビクススタジオ		100	319	8.4	26.6
運動フロア	全面	205	60	17.1	5.0
	1/2面	257	70	21.4	5.8
	1/3面	256	94	21.3	7.8
	1/6面	55	13	4.6	1.1
	計	773	237	64.4	19.7
合計		4,208	3,596	350.7	299.7

※ 新型コロナウイルスワクチン接種会場設置による利用休止等

(1・2回目接種) 設置期間: 令和3年6月12日～令和3年12月3日 設置場所: 運動フロア、エアロビクススタジオ その他施設は新規予約停止

(3回目接種) 設置期間: 令和4年1月4日～ 設置場所: 運動フロア、小会議室(平日17時まで) その他施設の貸出制限なし

イ 施設利用者

(人)

区分	項目	年間利用者数		月平均利用者数	
		令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
施設利用講習	大人	414	723	34.5	60.2
	小人	23	92	1.9	7.7
	計	437	815	36.4	67.9
施設利用カード更新	更新者数	835	1,039	69.6	86.6
	面接者数 (再掲)	340	434	28.3	36.2
体力測定		44	125	3.7	10.4
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム		19,385	25,190	1,615.4	2,099.2
合計		20,701	27,169	1,725.1	2,264.1

※ 特定天井落下防止対策事業・県有施設省エネ加速化事業によるプール利用休止(令和2年10月1日～令和3年6月30日)

新型コロナウイルス感染症対策によるトレーニング室・プールの利用休止(令和3年7月30日～9月30日)

ウ 健康づくり事業

(上段：人、下段：回)

区分	項目	年間利用者数		月平均利用者数	
		令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
施設利用講習	受講者数	437	815	36.4	67.9
	実施回数	123	137	10.2	11.4
体力測定	受検者数	44	125	3.7	10.4
	実施回数	27	112	2.2	9.3
簡易測定	受検者数	14	5	1.2	0.4
	実施回数	14	6	1.2	0.5
健康づくり講座	受講者数	136 ※ 661	1,336	11.3	111.3
	実施回数	15種 ※1種 37 82	13種 55	3.1	4.6
集団指導	受講者数	3,867	3,968	322.2	330.7
	実施回数	22種 255	20種 284	21.3	23.7
計	受講者数等	4,498	6,249	374.8	520.7
	実施回数	456	594	38.0	49.5

注) 前年度健康づくり講座（※印）については、介護予防事業（シルバー大学校分散（自主）登校時実施分）の実績

※ 新型コロナワイルスワクチン接種会場設置による利用休止等

(1・2回目接種) 設置期間：令和3年6月12日～令和3年12月3日 健康づくり講座及び集団指導の中止（令和3年11月24日まで）

(3回目接種) 設置期間：令和4年1月4日～ 健康づくり講座及び集団指導の制限なし

(2) とちぎ生きがいづくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分	項目	年間利用時間		月平均利用時間	
		令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
中央支所	講堂	558	333	46.5	27.7
	演習室A	250	187	20.8	15.6
	演習室B	147	169	12.3	14.1
	多目的ホール	455	253	37.9	21.1
	教室A	210	179	17.5	14.9
	教室B	94	68	7.8	5.7
	教室C	136	131	11.3	10.9
	教室D	85	9	7.1	0.8
	教室E	20	4	1.7	0.3
	教室F	391	448	32.6	37.3
	和室	6	30	0.5	2.5
	テニスコート	2,697	1,643	224.8	136.9
	計	5,049	3,454	420.8	287.8

※ 新型コロナワイルスワクチン接種会場設置による利用休止等

(1・2回目接種) 設置期間：令和3年6月12日～令和3年12月3日 会場使用：教室E その他施設は新規予約停止

(3回目接種) 設置期間：令和4年1月4日～ 会場使用：教室E その他施設の貸出制限なし

特定天井落下防止対策事業による講堂使用休止（令和3年11月1日～令和4年7月31日）

区分	項目	年間利用時間			月平均利用時間	
		令和2年度	令和3年度		令和2年度	令和3年度
県南支所	教室A	46	124		3.8	10.3
	教室B	90	66		7.5	5.5
	教室C	120	148		10.0	12.3
	教室D	75	119		6.3	9.9
	教室E					
	教室F	101	171		8.4	14.3
	演習室					
	和室	100	207		8.3	17.3
	屋外運動場					
	講堂兼体育館	19	2		1.6	0.2
計		551	837		45.9	69.8
県北支所	教室A		14			1.2
	教室B	31	76		2.6	6.3
	教室C	48	122		4.0	10.2
	教室D	60	151		5.0	12.6
	教室E	24	84		2.0	7.0
	教室F	35	114		2.9	9.5
	演習室	3	12		0.2	1.0
	和室					
	多目的ホール	54	81		4.5	6.7
	計	255	654		21.2	54.5
合 計		5,855	4,945		487.9	412.1

イ 栃木県シルバー大学校学生数（令和4年3月31日現在）

(人)

学校名（期別定員）	期別	41期生			42期生			合計			
		性別	男性	女性	計	性別	男性	女性	計	性別	女性
中央校(320)		110	119	229	103	101	204	213	220	433	
南校(120)		59	50	109	48	48	96	107	98	205	
北校(120)		32	44	76	37	28	65	69	72	141	
合計(560)		201	213	414	188	177	365	389	390	779	

※ 令和3年8月8日から9月30日まで 登校停止（オンライン・資料配布のみの対応）

(3) ねんりんピックとちぎ及び全国健康福祉祭

事業名	実施日	実施会場	実施内容
ねんりんピックとちぎ 2021 スポーツ・文化交流大会	令和3年4月20日 ～令和3年6月5日	栃木県 各市町	19種目中15種目実施 (3種目中止、1種目未実施)
ねんりんピックとちぎ 2021 シルバー作品展	令和3年6月2日 ～令和3年6月6日	とちぎ健康の森	シルバー作品展審査会 (令和3年6月1日 6部門)
第33回全国健康福祉祭ぎふ 大会	中止(令和3年11月 開催予定)		

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	令和2年度	令和3年度
実施日	令和2年10月11日	令和3年10月10日
申込者数(人)	688	785
受験者数(人)	625	706
合格者数(人)	121	166
合格率(%)	19.4	23.5

(5) 介護支援専門員研修

年度別 研修名(法定)	令和2年度		令和3年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
介護支援専門員 実務研修	(1期) 令和2年7～10月	受講者数 79 修了者数 77	令和3年12月 ～令和4年3月	受講者数 163 修了者数 158	介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対する研修
	(2期) 令和3年1～3月	受講者数 115 修了者数 112			
介護支援専門員 専門研修 (専門研修課程Ⅰ)	令和2年 8～9月	受講者数 93 修了者数 93	令和3年 6～8月	受講者数 61 修了者数 52	就業後6ヵ月以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員 専門研修 (専門研修課程Ⅱ)	令和2年 8～10月	受講者数 75 修了者数 75	令和3年 7～10月	受講者数 82 修了者数 79	就業後3年以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
主任介護支援専門員 研修	令和3年 1～3月	受講者数 93 修了者数 93	令和3年12月 令和4年3月	受講者数 82 修了者数 81	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技能を修得する研修

年度別 研修名(法定)	令和2年度		令和3年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
介護支援専門員更新研修 (実務未経験者)	令和2年9月 ～令和3年3月	受講者数 58 修了者数 54	令和3年12月 ～令和4年3月	受講者数 65 修了者数 58	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、専門職として能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新研修 (実務経験者)	令和2年 8～10月	受講者数 294 修了者数 291	令和3年 6～10月	受講者数 221 修了者数 208	
介護支援専門員 再研修	令和2年 9～11月	受講者数 104 修了者数 99	令和3年12月 ～令和4年3月	受講者数 93 修了者数 96	介護支援専門員として必要な知識、技能の再修得を図る研修
主任介護支援専門員 更新研修	令和2年10月 ～令和3年6月 予定 ※新型コロナウイルス 感染症対策によ り日程延期	受講者数 135 修了者数 (予定) 135	令和3年5～6月 (令和2年度 延期分)	受講者数 135 修了者数 130	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たすために必要な能力の保持・向上を図る研修
合計		受講者数 1,046 修了者数 1,029		受講者数 921 修了者数 884	令和2年度延期分の受講者数 は、令和2年度の実績に含む

注) ・新型コロナウイルス感染症対策により、オンライン研修を導入（令和3年1月～）

・更新研修（実務未経験者）及び再研修について、研修修了日の取扱いにより一部修了区分を変更している。

IV 評議員会・理事会の開催状況

1 評議員会

回数	開催年月日	区分	内容
第 69 回	令和 3 年 4 月 1 日	決議の省略	役員の選任について
第 70 回	令和 3 年 6 月 29 日	議事	第 1 号 令和 2 年度とちぎ健康福祉協会決算について 第 2 号 社会福祉充実計画の終了について 第 3 号 役員の選任について
		報告	第 1 号 令和 2 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について
第 71 回	令和 4 年 3 月 30 日	報告	第 1 号 令和 4 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 第 2 号 令和 4 年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について 第 3 号 労働基準法に基づく是正勧告等への対応について 第 4 号 桜ふれあいの郷虐待通報案件への対応について

2 理事会

回数	開催年月日	区分	内容
第 98 回	令和 3 年 4 月 1 日	決議の省略	常務理事の選定について
第 99 回	令和 3 年 6 月 11 日	議事	第 1 号 令和 2 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 第 2 号 令和 2 年度とちぎ健康福祉協会決算について 第 3 号 社会福祉充実計画の終了について 第 4 号 基本財産の取得について 第 5 号 桜ふれあいの郷居住棟ほか解体工事に係る契約締結の方法等について 第 6 号 令和 3 年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第 7 号 役員候補者の選任について 第 8 号 第 70 回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について 第 9 号 とちぎ健康福祉協会評議員選任・解任委員会委員の選任について 第 10 号 評議員候補者の選任について 第 11 号 とちぎ健康福祉協会評議員選任・解任委員会の開催について
		報告	第 1 号 予備費の使用について 第 2 号 理事長及び常務理事の職務執行状況について

第100回	令和3年 6月29日	議事	第1号 理事長の選定について 第2号 常務理事の選定について 第3号 評議員候補者の選任について
第101回	令和3年 9月1日 (Web会議)	議事	第1号 令和3年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について
		報告	第1号 予備費の使用について 第2号 新型コロナウイルス感染症の発生とその対応について 第3号 桜ふれあいの郷居住棟ほか解体工事に係る契約の締結について
第102回	令和3年 12月9日	議事	第1号 令和3年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第2号 とちぎ健康福祉協会人事考課規程の一部改正について 第3号 とちぎ健康福祉協会嘱託職員就業規程の一部改正について 第4号 清風園給食業務に係る契約締結の方法等について
		報告	第1号 予備費の使用について 第2号 理事長及び常務理事の職務執行状況について
第103回	令和4年 3月18日	議事	第1号 とちぎ健康福祉協会組織規程の一部改正について 第2号 とちぎ健康福祉協会キャリアパス等級規程の一部改正について 第3号 とちぎ健康福祉協会職員の給与等の支給に関する規程の一部改正について 第4号 とちぎ健康福祉協会嘱託職員就業規程の一部改正について 第5号 とちぎ健康福祉協会経理規程の一部改正について 第6号 とちぎ健康福祉協会職員就業規程の一部改正について 第7号 令和4年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 第8号 令和4年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について 第9号 令和3年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第10号 事務局の長及び施設の長の任免について 第11号 役員候補者の選任について 第12号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第13号 第71回とちぎ健康福祉協会評議員の開催について 第14号 第72回とちぎ健康福祉協会評議員の開催について
		報告	第1号 清風園給食業務委託に係る入札の結果について 第2号 予備費の使用について 第3号 労働基準法に基づく是正勧告等への対応について 第4号 桜ふれあいの郷虐待通報案件への対応について